

倒伏させない稲作技術！！

倒伏させたら、収量も品質も低下は免れない！

【倒伏の原因】

倒伏の原因は栄養（チッ素）過多、過繁茂、根腐れ、紋枯れ病などです。この内、**最も多い倒伏の原因がチッ素過多**です。

過剰なチッ素成分が稲を軟弱徒長させ、茎や葉を軟らかくします。

また、倒伏以外のチッ素過多によるトラブルとして、

- ・耐病性低下
- ・過繁茂によるカビ（イモチ、モンガシなど）
- ・食味低下（タンパク含量増）

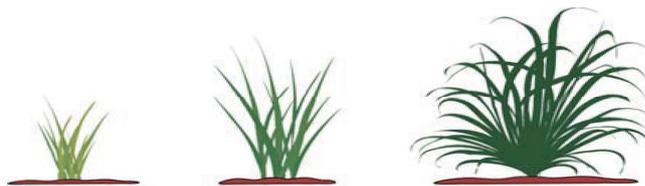
などがあります。



【チッ素過多の見分け方】

- ・分ケツが多い
- ・葉の色が濃い緑で垂れている
- ・葉や茎が柔らかい
- ・隣同士の株の葉が重なり合っている（葉が茂っている）

【倒伏防止にはMリンPK】（リン酸、カリ、カルシウムのトリプル効果）



生育状況	肥料切れ	標準	過繁茂
葉色の目安	コシヒカリ		
	4.0 以下	4.0~4.5	5.0 以上
	その他の品種		
	4.5 以下	4.5~5.0	5.5 以上
施肥量 (10a 当たり)	MリンPK 10~20kg	MリンPK 0~20kg	MリンPK 20~30kg
	硫安 3~6kg	硫安 0~5kg	—

イネの状態を見ながら追肥します。

葉色の確認は

「**ミズホ式葉色板**」

が便利！



ミズホ式葉色板

【流し込むだけの「流水施肥」でラクラク追肥】

※現代農業（平成24年8月号）でも紹介されました

追肥には流し込むだけの「流水施肥」がオススメです。

【流水施肥のやり方】

- ① 水深を0.5~1.5cmにします。(田全体に薄く水を張る)
水が多すぎると均一な施肥ができない場合があります。
- ② 入水しながらMリンPKを投入します。施肥場所は水口の水が落ちるところが一般的です。用水路の水が全量自分の水田に引き込める場合は、用水路の途中に施肥することでカスの発生を少なくできます。
- ③ MリンPKの施肥が終わったら、硫安（または尿素）およびアミビタゴールドなどのチッ素肥料を流し込みます。先にMリンPKを流し込むことによって、チッ素肥料のアンモニア成分（プラスイオン）を土（マイナスイオン）が吸着することを防いでくれます。
- ④ 水深が10~12cmになるまで入水を続けます。途中で水が止まると施肥ムラが発生しやすくなります。また、高低差が3cm以上ある水田では、12~15cm程度の水深になるまで入水してください。

※水口付近に白いカス（硫酸カルシウム）が残ることがありますが、問題ありません。



MリンPK

